

みんなと一緒に育つ 「夢の学校」

2013年度に誕生した「夢の学校」は、十日町小学校、市立ふれあいの丘支援学校、市発達支援センターが一緒に入った施設です。

市立ふれあいの丘支援学校は、2002年度に十日町小学校の空き教室を利用してスタートした県立小出養護学校ふれあいの丘分校を引き継ぎ、PTAや地域の大きな夢を乗せて2013年4月、市立の支援学校として開校しました。

「夢の学校」では、これまで培ってきた共生の理念に基づき、両校の児童生徒一人ひとりの個性が尊重される教育が行われています。城ヶ丘ふれあいカーニバル(運動会)や城ヶ丘ふれあいフェスティバル(文化祭)などの学校行事が合同で開催されているほか、互いに学び合う授業交流も盛んに取り組まれています。

校舎の中央部に設けられた広いスペースの「ふれあい広場」や、どの子どもにも使いやすいユニバーサルデザインのプールなど、校舎は共生教育の推進を支える施設や設備が工夫されています。

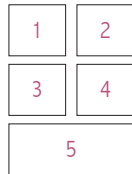
Developmental Support
Support for children and the child-rearing generation

We want to create a dream school that supports the healthy development of children.

Dr. Yasuaki Inami works as a clinical psychologist at the Ohisama Developmental Support Center in the Citizens Welfare Division of Tokamachi City. The Developmental Support Center provides support tailored to the mental and physical conditions of each pre-school child, with "developmental counseling", "training", "family support" and "courses" as the pillars of support. Through the teamwork between staff members, interaction with the staff of Tokamachi Elementary School and the staff and children of the Fureai no Oka Special Needs School, the children's growth and development are followed from pre-school to elementary school, junior high school and beyond.

**【愛护下一代、支援育児家庭】
建设支援孩子健康成长的理想学校。**

稻見康明 (Inami Yasuaki) 作为一名临床心理士工作于十日町市的市民福祉部发达支援中心“太阳”。发达支援中心以“发育咨询”、“训练”、“家庭支援”、“培训”为主要工作。根据学龄前儿童的不同个性与身心状态开展支援活动。他们在开展成员间协作的基础上,积极与入住于同一建筑物内的十日町小学和交流之丘支援学校的教职员以及孩子们开展交流,并着眼于学龄前、小学、初中以及此后的各个发育阶段,为孩子们的健康成长提供各种帮助。



- 1.遊びや会話などのコミュニケーションを通して子どもの発達を促します。
- 2.支援会議の様子。それぞれの分野の専門職員が子どもの支援を検討します。
- 3.文化祭ではふれあいの丘支援学校の子どもたちが手話を指導し、十日町小学校4年生と「ビリーブ」を合唱しました。
- 4.十日町小学校とふれあいの丘支援学校との合同運動会での入場行進。中央はふれあいの丘支援学校の子どもたちです。
- 5.十日町小学校・ふれあいの丘支援学校・発達支援センターの全景。



床心理士として、子どもたちとふれあい、家族と相談しながら、一人ひとりの個性や発達段階にあった支援や助言をしていく仕事をしています。

スタッフ間の連携はもちろん、同じ建物にある小学校と支援学校の職員や子どもたちとの交流を図りながら、就学前から小学校以降の生活も見据えて、子どもたちの成長を見守っていきたいです。そして、この取組みが3施設内だけの取組みに終わらず、市内全域、また全国に発信できるようにしていくことが私たちの使命だと考えています。

発達支援センターでは、「発達相談」「訓練」「家族支援」「研修」を支援の柱として、それぞれの子どもたちの個性や心と体の状態に合った支援をしています。私は臨

三つの施設が一体となって子どもたちの成長を支えていくことが使命です

多くの人の夢や願いが形となった学校です

地域や保護者、学校や行政の皆さんの熱い思いが実現させた「夢の学校」。教育と福祉が一体となり、早期療育・共生教育・就学支援などの取組みを行っている施設ができるという話しを聞いたときは正直驚きました。「障がいのある子ども障がいのない子ども」一つの学舎の中で、相互に学び合い認め合い、高め合う」という「共生の理念」を柱に、教員・保育士・保健師・心理士・理学療法士・作業療法士などのさまざまな専門職が結集された全国でも類を見ないこの施設で、地域の保護者の皆さんと共に子どもたちの成長を応援していきたいです。

profile

稲見 康明さん 十日町市役所 市民福祉部 発達支援センター「おひさま」臨床心理士

大学では教育心理学を専攻。このとき、子どもたちとふれあうキャンプや余暇支援のボランティアに参加。この体験の中で「心理学を生かして子どもたちとその家族を応援して行けたら」という意識に目覚めたそうです。上越教育大学大学院に進み臨床心理学を学び、2013年4月から同施設に勤めています。

乳幼児と保護者が遊びながら集団で活動を経験することができる「プレールーム」にて。

子どもたちはみな、未知の可能性を持っています。

子どもたちと子育て世代への支援

子どもたちのすこやかな育ちを応援する夢の学校にしたい。

